案内図（No.6）



縮尺　1：1500



工　事　名　　平成５年度　道路改良工事
工事箇所　　鎌倉市山ノ内３２２番地　先
工事期間　　平成６年　２月２８日～　３月３０日
施工業者　　㈱斉藤建設　☎(25)5670
現場代理人　　[redacted]、[redacted]

◎舗装内容　　排水性舗装　t＝５cm
表面　レジンコート使用

（使用舗装会社）　鹿島道路㈱　☎045(664)2883

車道用高性能排水性舗装

レジンコート排水性舗装



大きな信頼・確かな技術

鹿島道路

〈排水性舗装とは〉

一般に排水性舗装は、連続した空隙孔を有する表層材料を利用して路面排水を行い、降雨時の水はねやスモーキング現象およびハイドロプレーニング現象を抑制するもので、次のような特長があります。

一般の排水性舗装の特長

①ハイドロプレーニング現象の防止
②視認性の向上
③すべり止め効果
④騒音低減に寄与

〈レジンコート排水性舗装とは〉

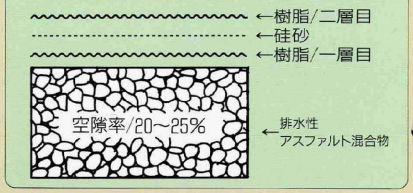
ここに紹介するレジンコート排水性舗装は、空隙孔の維持に寄与するもので、いつまでも変らない排水性路面を目ざしたものです。

レジンコート排水性舗装の工法は、開粒度アスファルト混合物舗設後に特殊なアクリル(MMA)系樹脂を散布・浸透させることで、排水性舗装表面部分の強化を図ったもので、一般の排水性舗装の特長に加え、以下の点に優れています。

レジンコート排水性舗装の特長

①摩耗に強い(飛散しにくい)
②空隙を大きく設定できる(空隙率は最大25%程度)
③供用後の目つぶれを抑制できる
④透水性に優れている

レジンコート排水性舗装の断面



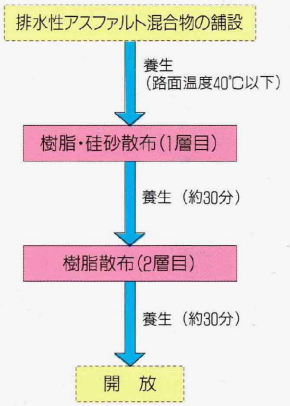

通常の舗装(密粒度タイプ)


レジンコート排水性舗装

〈レジンコート排水性舗装の施工〉

樹脂および硅砂の散布は特殊な自動散布装置を用いるので、ムラなく均一に仕上げることができるとともに、付近への飛散も少なく施工も安心して行えます。さらに、アクリル(MMA)系の樹脂を使用しているので冬期でも施工でき、散布後約30分で車の通行が可能です。

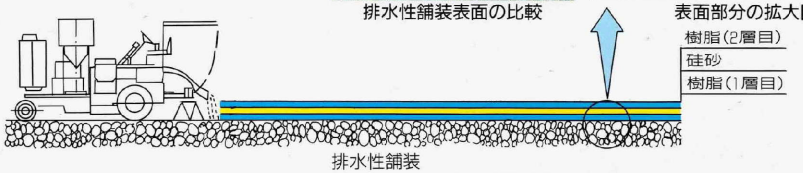
レジンコート散布手順

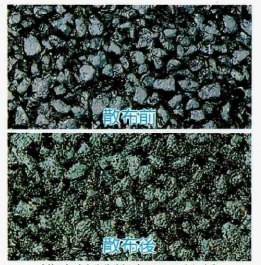


標準散布量

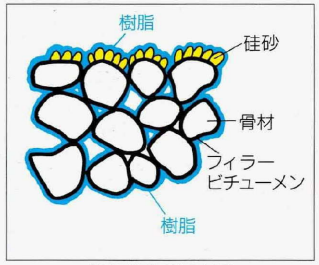
散布手順		標準散布量	材料名
一層目	樹脂	0.5 ℓ/㎡	アクリル系樹脂
	硅砂	0.5kg/㎡	5号硅砂
二層目	樹脂	0.5 ℓ/㎡	アクリル系樹脂

散布要領図





排水性舗装表面の比較

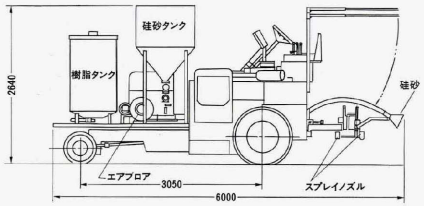


表面部分の拡大図

レジンコート散布装置

車両諸元			
全長	6,000mm	全高	2,640mm
全幅	2,500mm	車体重量	6,050kg

散布装置諸元			
コンプレッサー	2㎥/min	散布横行幅員	2,000~4,000mm
ノズル移動速度	32m/min(MAX)	樹脂タンク容量	600 ℓ
ノズル散布幅	800mm	硅砂タンク容量	640 ℓ



施工状況

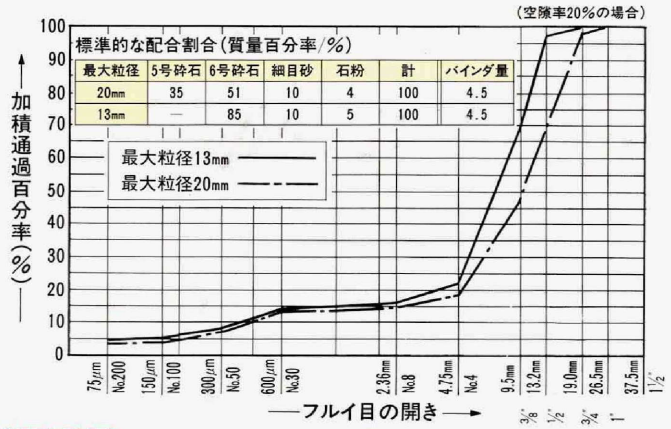


〈目つぶれ・摩耗・飛散に強い優れた路面〉

特殊樹脂の浸透により舗装表面部分を強化しているので、「目つぶれ」「摩耗」「骨材の飛散」等従来の排水性舗装の問題点を大幅に解決しました。

レジンコート排水性舗装について

●母体混合物の配合および粒度曲線図(例)

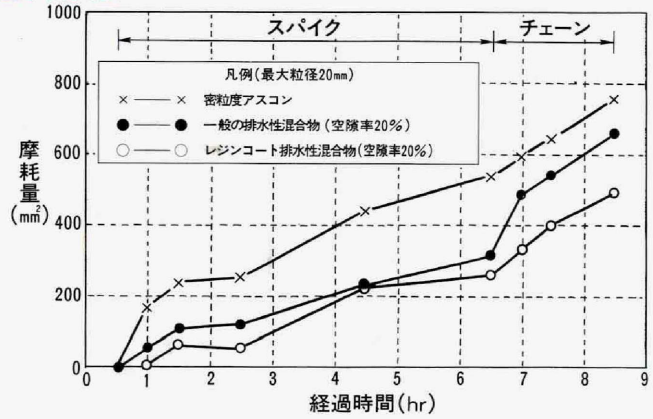


●母体混合物の性状値(実験値)

(空隙率20%の場合)

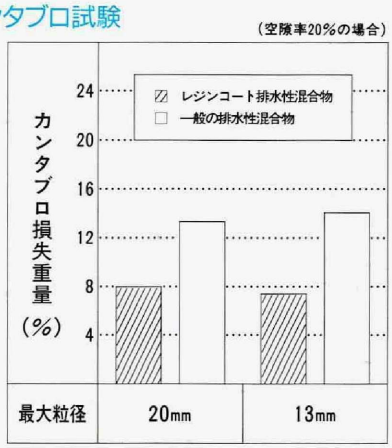
最大粒径 (mm)	20	13
密度 (g/cm³)	2,140	2,130
空隙率 (%)	20.1	20.1
安定度 (kgf)	683	632
フロー値 (1/100cm)	28	37
残留安定度 (%)	91.0	91.0
透水係数 (cm/sec)	6.3×10^{-2}	3.7×10^{-2}
動的安定度 (回/mm)	4,800	4,800

●促進摩耗試験

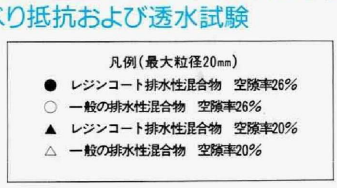


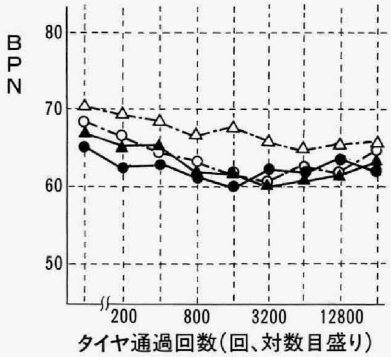
●カンタブロ試験

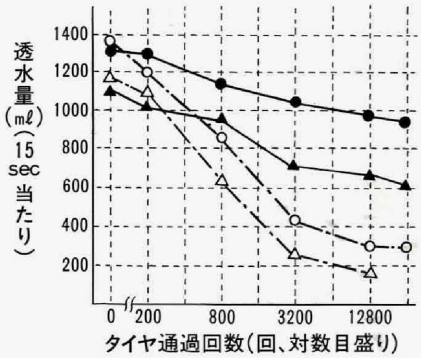
(空隙率20%の場合)



●トルク発生型ホイールトラッキング試験後のすべり抵抗および透水試験







※開粒度アスファルト混合物には、高粘度アスファルトを使用しています。

鹿島道路株式会社

本　　店　〒102 東京都千代田区麹町5-3-1　03-3262-6141
札幌支店　011-241-4476　北陸支店　025-243-3851　四国支店　0878-39-3185
東北支店　022-261-7131　名古屋支店　052-936-1561　九州支店　092-451-4356
東京支店　03-3262-6141　大阪支店　06-261-1075　技術部　03-3238-1681
横浜支店　045-664-2880　広島支店　082-247-1851　技術研究所　0424-83-0541

No.39106